

水窪町

地形概況

気田川と水窪川流域の山地で赤石山地南部にあたり比高も大きい。河川は曲流と深い谷を形成させた。青崩峠から水窪にかけて中央構造線が通り、破碎帯も発達する。水窪の集落は谷底低地・段丘・山麓堆積物からなる盆地状の地形に立地する。

地質概況

赤石裂線の東側は泥岩と砂岩の互層を主とする寸又川層群、中央構造線との間は黒色頁岩や砂岩からなる秩父帯また構造線以西は領家変成帯の花崗岩・石英閃緑岩・片麻岩類などからなる。断層と褶曲による変形や変質が激しく斜面崩壊も多い。

気象概況

年平均気温の推定 13.2℃は県内では低く、夏と冬の温度差が 23℃以上、日中と夜間の温度差が 12℃以上ある。日照時間も山地の影響により約 1,900 時間と短い。年平均降水量は中部山岳地帯の南斜面に位置するため多く、推定 2,800mm 以上と見積られる。

災害事例 地震

- 1944 年 12 月 7 日（昭和 19 年）東南海地震 M=7.9
県中・西部に被害をもたらした地震があるが、当地では被害の記録はない。
- 1707 年 10 月 28 日（宝永 4 年）宝永地震 M=8.4
県下全般に被害を与えた大地震である。震度は水窪で 5～6 になった。

災害事例 台風

- 1991 年 9 月 19 日（平成 3 年）台風 18 号
台風 18 号の北上に伴い、秋雨前線が活発となり、本県全域に大雨を降らせ、水窪町では時間雨量 88mm を記録した。水窪町では土石流の発生により、死者がでた他、道路の寸断により、孤立地域がでた。死者 1 人、重傷 1 人、全壊 5 戸、半壊 3 戸、床上浸水 11 戸、床下浸水 68 戸の被害となった。
- 1968 年 8 月 29 日（昭和 43 年）台風 10 号
全県下特に西部で風水害。水窪町芋堀で土砂崩れがあり。また長尾地内の県道大鹿～水窪線が決壊し、通行不能になった。当地の被害は死者 4 人、負傷者 7 人、行方不明 1 人、全壊 2 戸、半壊 3 戸、流失 3 戸、床上浸水 401 戸、床下浸水 73 戸、道路決壊 29 箇所、橋梁流失 3 箇所、山崩 100 箇所などに及んだ。
- 1965 年 9 月 18 日（昭和 40 年）台風 24 号
当地での被害は全壊 11 戸、半壊 10 戸、床上浸水 143 戸、床下浸水 413 戸、田畑冠水 48ha、道路決壊 62 箇所、堤防 2 箇所、橋梁 25 箇所、山崩れ 80 箇所などが生じた。